

3月30日

ジュニアアルペン
芳賀さん&長嶋さん

全日本技術選手権で入賞

3月末に長野県の菅平高原スノーリゾートで開催された全日本ジュニアスキー技術選手権大会で、美幌ジュニアアルペンスキー少年団に所属している芳賀奏太さん（北中3年）が2位、長嶋幸明さん（北中3年）が5位に入賞する素晴らしい結果を残しました。

大会を振り返り、芳賀さんは「去年はミスが多かったので、今年の中日本ではいい滑りができて嬉しい」と話し、長嶋さんは「1日目は緊張と力みでミスが出たが、2日目に気持ちを切り替えて入賞できた」と話してくれました。

お互いを「ライバル」と認め合う2人は、全国で2位・5位という立派な結果にも、「優勝を目指していた」と悔しさを覗かせ、「来年こそは!」と優勝を誓いました。



(写真) 左・長嶋幸明さん、右・芳賀奏太さん

大会結果

芳賀 奏太さん 総合得点815点 | 総合成績
2位
小回り 276 大回り 272 小回り 267

長嶋 幸明さん 総合得点810点 | 総合成績
5位
小回り 270 大回り 272 小回り 268

3月7日

永年の活動に最高の栄誉

美幌消防団 特別表彰を受賞



東京都で開催された第77回日本消防協会定例表彰式において、美幌消防団が最高栄誉である特別表彰「まとい」を受賞し、授与されました。いつも町民に寄り添い、献身的な活動を続けてこられた消防団員の皆様。「永年にわたって地域を支えてきた諸先輩方、団員家族の理解の賜物です」と喜びの声を寄せてくださいました。この度の受賞、おめでとうございます。

4月14日

町民の安全を守り50年

自治会連合会交通安全部会



自治会連合会交通安全部会が結成50周年の大きな節目を迎え、町民会館で記念式典・表彰式が行われました。交通事故ゼロの目標日数を達成された自治会や会の活動に永年貢献された個人・団体に表彰状が授与され、町内で、そして町民が悲惨な交通事故にあわない、起こさない、町民総ぐるみの交通安全運動の継続とさらなる発展を誓いました。

認知症は早めの対応が大切です

ページID: 12515

認知症初期集中支援チーム「だいたい」をご存じですか
～すばやく集中的なサポートで認知症の困りごと・心配ごとを解決します～

認知症初期集中支援チームとは

認知症の診断や適切な医療サービス・介護サービスを紹介するために、チーム員がご自宅に訪問して一定期間集中的な支援を行います。

チーム員

- 医師（北見赤十字病院）
- 看護師（認知症看護認定看護師）
- 地域包括支援センター職員など

認知症早期発見3つのメリット

メリット
1 早期治療で改善も期待できる

メリット
2 進行を遅らせることができる

メリット
3 事前準備ができる

認知症は完治が難しい病気とされていますが、早期に発見して適切な対応を取れば、その人らしい充実した暮らしを続けられるため、「早めの対応」が必要です。

〈問合先〉地域包括支援センター（☎75-3220・窓口9番）

相談から支援までの流れ

- ①地域包括支援センターに相談
- ②初回家庭訪問
- ③チーム員会議
- ④初期集中支援の実施
- ⑤ケアマネージャーや医療などへの引継ぎ・支援



新しく2名が 地域おこし協力隊に着任！

WorkingSpace KITENの運営に携わる2人を新たに地域おこし協力隊に任命しました。

西島 宏明 さん

4月に着任して間もないですが、すでにお会いする方々皆様によくしていただいております。これからより多くの人と関わる機会がとても楽しみです。

まだ分からないことも多いですが、自然と人が豊かな美幌の魅力を友人や知人に自慢できるくらい知り、まちを盛り上げるお手伝いを着実にやっていきたいと思っております！

そんな私は普段は美幌みどりの村内のKITENにて看板BOYをしており、皆様のご利用をお待ちしております。

よろしくお願いします！！

山本 あゆみ さん

出身地は兵庫県赤穂市、大学時代はまちづくりとアパレルについて学び、その後大学院に進学しコミュニティデザインについて学びました。高校生の「やってみたい」を地域で実践するために必要なサポートについて研究していました。

「暮らしと自然のつながり」「てつがく対話」「おいしいパン」に興味があります！

これから少しずつ美幌町の魅力に触れ、美幌町に住む皆さまと関わり合いながら成長していきたいです。

どうぞよろしくお願いします！

YouTube「美幌町公式チャンネル」で2人の自己紹介動画を公開中！



地域おこし協力隊だより

町公式SNSでも
まちの話題を発信中！



facebook
(フェイスブック)



YouTube
(ユーチューブ)

